



**注意**

- 開梱時に部品の種類と数量を確認してください。●商品に異常がないことを確認してください。
- 柱開き止めはブロック施工以外の場合に使用してください。

名称・略図・数量

柱開き止め x 1  
L = 柱内寸法は、指定のない場合  
L = 1000からの現場切断となります。

※取付穴：  
片側は工場加工、反対側は  
現場寸法確認後の現場加工となります。

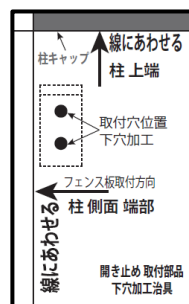
取付部品治具 x 1

φ4×13ドリルネジ (細目) x 2

取付部品 x 2

φ4×13ドリルネジ (細目) x 4

※柱開き止めの規格長さからの2本取りは、不可となります。



**■取付方法**

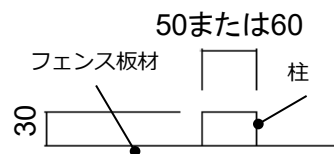


**注意**

- 板最上段から柱開き止め上端が出ないように、取付部品の位置決めを行ってください。

添付治具使用時は、  
最上段すきま材が10mmの場合で、  
板最上段から5mm下に開き止めを  
取付する寸法になります。

※50×30・60×30角柱に  
施工する場合は、  
50または60の面に板材  
を取付けてください。

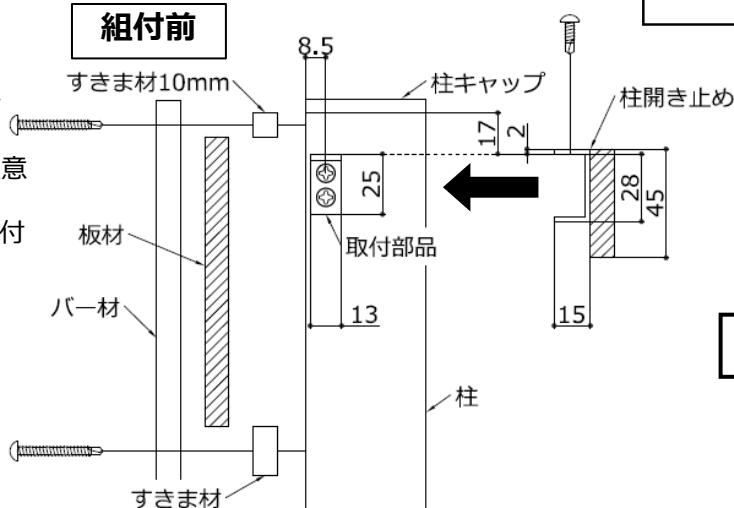


※柱芯芯1000mmスパンの場合。  
現場の状況にあわせてすきまを設けてください。

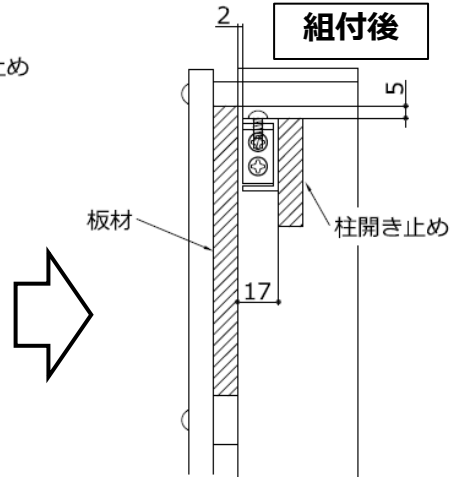
|                 | 柱角数   | 柱内々<br>柱開き止め長さ |
|-----------------|-------|----------------|
| アルミ柱<br>(ラミネート) | 40×40 | 960            |
|                 | 50×30 | 950            |
|                 | 60×30 | 940            |
|                 | 50×50 | 950            |
|                 | 60×60 | 940            |
|                 | 70×70 | 930            |
| コート柱            | 40×40 | 960            |
|                 | 52×52 | 948            |

- アルミ柱でV溝がある場合にはV溝がある面が板を取付ける面になります。  
柱の施工向きにご注意ください。  
P2 2 取付金具の取付を参照ください。

**組付前**

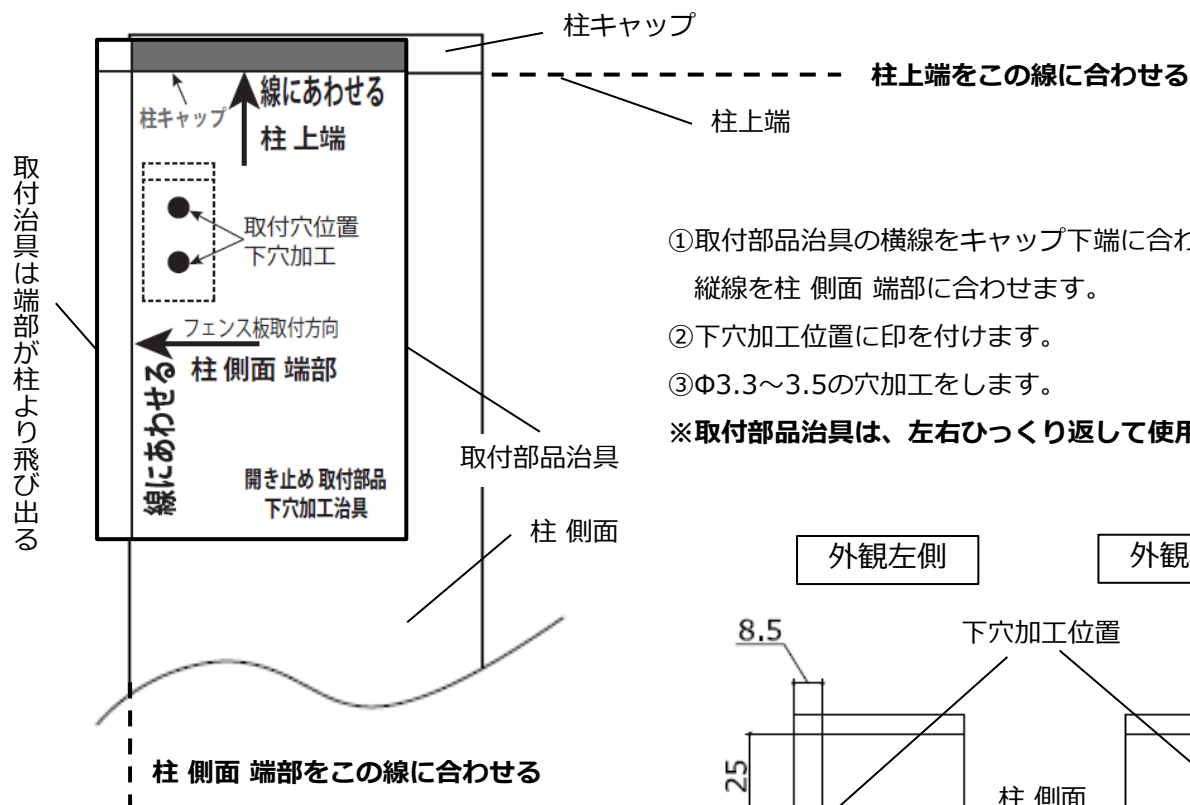


**組付後**



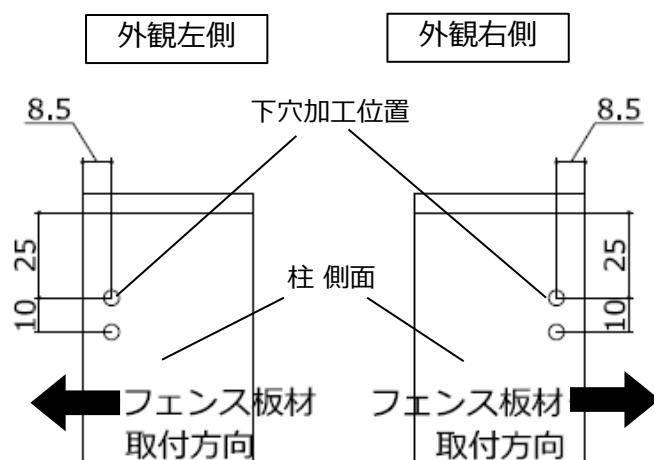
## ■ 取付について

### 1 取付穴加工（取付部品治具：最上段すきま材10mm用）



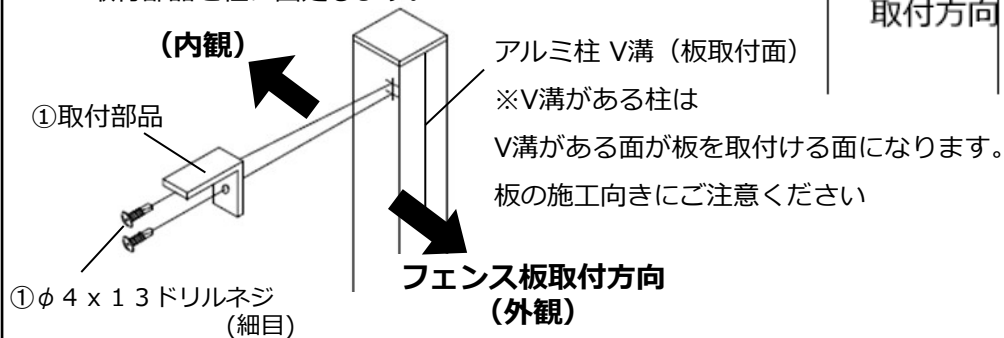
- ① 取付部品治具の横線をキャップ下端に合わせ  
縦線を柱 側面 端部に合わせます。
- ② 下穴加工位置に印を付けます。
- ③  $\phi 3.3 \sim 3.5$  の穴加工をします。

※ 取付部品治具は、左右ひっくり返して使用してください。



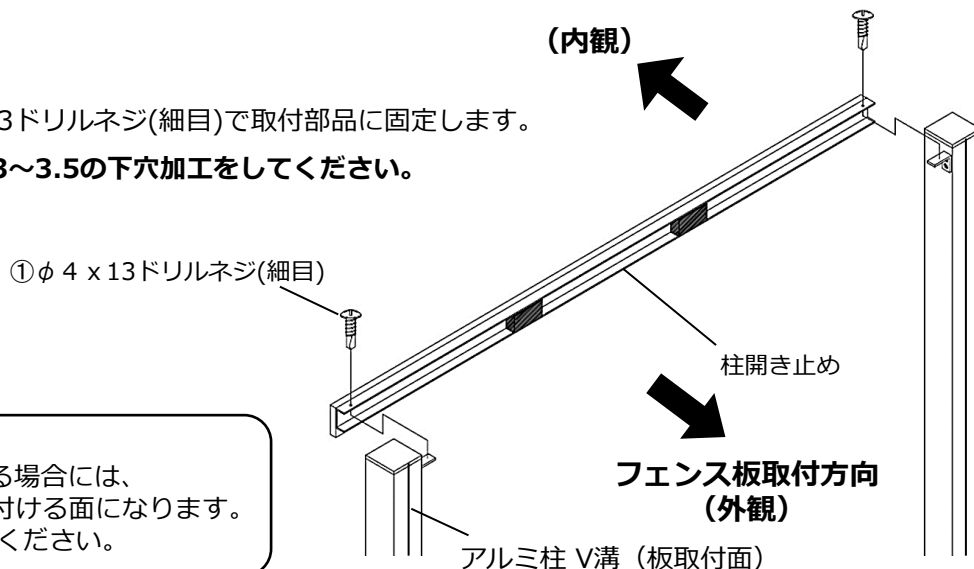
### 2 取付金具の取付

- ①  $\phi 4 \times 13$  ドリルネジ(細目)で  
取付部品を柱に固定します。



### 3 柱開き止めの取付

- ① 柱開き止めを、 $\phi 4 \times 13$  ドリルネジ(細目)で取付部品に固定します。  
※ ネジ取付前に、 $\phi 3.3 \sim 3.5$  の下穴加工をしてください。



#### 注意

- アルミ柱でV溝がある場合には、  
V溝がある面が板を取付ける面になります。  
柱の施工向きにご注意ください。